

11 教員組織

進捗状況報告

人間福祉研究科の独立による補充人事によって、教員が拡充された。博士前期課程教員の教員資格を准教授以上として大幅に拡充する方向で検討中である。国内外の研究機関との交流については先端社会研究所を中心に外部資金への応募を通じて予算の獲得を目指している。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

21世紀COEの後継プログラムである先端社会研究所は2008年4月に全学付置機関として発足した。ここでは21世紀COEプログラムでの人類の幸福に資する調査の研究を継続・発展させることを目的として先端的な研究を進めている。その目的のために、先端的社会調査研究のほか、社会調査に関するデータベースの構築、大学と社会を双方向的に繋ぐソーシャルサイエンスショップ、若手研究者の育成などの事業をおこなう。

学内第三者評価

博士前期課程担当教員の拡充が進められ、また国内外の研究機関との交流の充実を目指している。それらと、教員募集などの基準・手続きの適切さとが相まって、教員組織の適切さが確保されていくことが期待される。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
先端社会研究所の役割、位置づけを明示することが望まれる。